

平成26年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年5月1日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 妙徳

コード番号 6265 URL <http://www.convum.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中森俊雄

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 伊勢幸治

TEL 03-3759-1491

四半期報告書提出予定日 平成26年5月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年12月期第1四半期の連結業績(平成26年1月1日～平成26年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第1四半期	536	13.4	106	109.2	107	99.1	70	111.3
25年12月期第1四半期	472	△4.6	50	△33.9	54	△34.5	33	△33.0

(注) 包括利益 26年12月期第1四半期 63百万円 (9.4%) 25年12月期第1四半期 57百万円 (6.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年12月期第1四半期	9.43	9.40
25年12月期第1四半期	4.37	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年12月期第1四半期	3,817	3,405	88.7
25年12月期	3,832	3,381	87.7

(参考) 自己資本 26年12月期第1四半期 3,385百万円 25年12月期 3,362百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年12月期	—	3.50	—	4.50	8.00
26年12月期	—	—	—	—	—
26年12月期(予想)	—	3.00	—	3.50	6.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年12月期の連結業績予想(平成26年1月1日～平成26年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,111	9.4	143	0.9	148	△5.8	84	△19.1	11.24
通期	2,334	11.4	319	△6.6	335	△5.1	201	△10.4	26.99

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年12月期1Q	8,285,000 株	25年12月期	8,285,000 株
26年12月期1Q	828,024 株	25年12月期	804,024 株
26年12月期1Q	7,478,428 株	25年12月期1Q	7,645,307 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策および日本銀行による金融緩和を受け、企業業績の改善や設備投資の持ち直し等が見られるなど、緩やかな回復基調で推移いたしました。しかしながら、先行きは、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動、米国金融緩和縮小による影響や新興国の景気減速懸念等、楽観視できないものがあります。

当業界におきましては、輸出関連業界、スマートフォン向け電子部品業界に業績の回復が見られ、当社グループの主要顧客業種である半導体製造装置業界においても、一部、設備投資需要に、上向きの兆しが見られました。

このような環境下、当社グループは、製品開発部門と営業部門を組織統合することにより、顧客ニーズに応える迅速な新製品開発と拡販活動に取り組むとともに、海外生産の拡充によるコストダウン及び供給力強化に取り組んでまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、連結売上高は536,234千円（前年同期比113.4%）、連結経常利益は107,928千円（前年同期比199.1%）、連結四半期純利益は70,517千円（前年同期比211.3%）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 日本

輸出関連業界、スマートフォン向け電子部品業界の設備投資の改善、消費税増税前の駆け込み需要もあり、売上高は371,366千円（前年同期比104.6%）となりました。営業利益については82,077千円（前年同期比233.3%）となりました。

② 韓国

一部、半導体製造装置業界の需要回復があり、売上高は98,357千円（前年同期比150.9%）となりました。営業利益については18,030千円（前年同期比249.7%）となりました。

③ 中国

成長鈍化による景気減速懸念がありましたが、販売体制を強化し拡販を推し進めてまいりました。この結果、売上高は44,333千円（前年同期比127.4%）となりました。営業利益については5,172千円（前年同期比63.9%）となりました。

④ その他

タイ国を中心に、東南アジア市場への拡販活動を推し進めてまいりました。この結果、売上高は22,177千円（前年同期比124.5%）となりました。営業利益については1,130千円（前年同期比307.0%）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産

当第1四半期連結会計期間末において、流動資産は前連結会計年度末に比べ26,408千円減少し、1,497,750千円となりました。これは主として、製品が10,089千円、原材料が11,193千円、流動資産のその他が12,905千円増加したのに対し、現金及び預金が61,536千円減少したことによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ12,063千円増加し、2,320,039千円となりました。

この結果、資産合計は、前連結会計年度末に比べ14,345千円減少し、3,817,789千円となりました。

② 負債

流動負債は、前連結会計年度末に比べ37,480千円減少し、266,961千円となりました。これは主として、賞与引当金が33,675千円増加したのに対し、未払法人税等が44,207千円、流動負債のその他が26,076千円減少したことによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ638千円減少し、145,331千円となりました。これは固定負債のその他が7,540千円増加したのに対し、退職給付引当金が8,179千円減少したことによります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ38,119千円減少し、412,293千円となりました。

③ 純資産

純資産は、前連結会計年度末に比べ23,774千円増加し、3,405,496千円となりました。これは主として利益剰余金が36,853千円増加したのに対し、為替換算調整勘定が11,246千円減少したことによります。

その結果、自己資本比率は88.7%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループの連結業績予想につきましては、第1四半期の実績に鑑み、変更をいたしておりませんが、今後、業績予想を修正する必要があると判断した場合には、適時に修正開示をいたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① たな卸資産の評価方法

当第1四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

また、たな卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積もり、簿価切下げを行う方法によっております。

② 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	711,018	649,482
受取手形及び売掛金	439,925	446,327
製品	133,224	143,314
仕掛品	100,739	94,390
原材料	66,882	78,076
繰延税金資産	40,214	41,074
その他	32,608	45,513
貸倒引当金	△455	△429
流動資産合計	1,524,159	1,497,750
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,324,386	1,303,758
減価償却累計額	△507,593	△517,263
建物及び構築物(純額)	816,792	786,495
機械装置及び運搬具	744,249	750,571
減価償却累計額	△543,082	△553,426
機械装置及び運搬具(純額)	201,166	197,144
土地	738,579	737,701
その他	499,488	524,579
減価償却累計額	△406,095	△409,595
その他(純額)	93,393	114,984
有形固定資産合計	1,849,932	1,836,326
無形固定資産	98,913	90,355
投資その他の資産		
投資有価証券	168,428	176,177
繰延税金資産	3,272	-
長期預金	134,619	135,118
その他	52,810	82,062
投資その他の資産合計	359,130	393,358
固定資産合計	2,307,976	2,320,039
資産合計	3,832,135	3,817,789
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	43,365	55,063
未払法人税等	78,829	34,621
賞与引当金	38,726	72,402
役員賞与引当金	16,855	4,285
その他	126,665	100,588
流動負債合計	304,442	266,961
固定負債		
退職給付引当金	116,936	108,757
繰延税金負債	-	4,380
その他	29,033	32,193
固定負債合計	145,970	145,331
負債合計	450,412	412,293

純資産の部			
株主資本			
資本金	748,125		748,125
資本剰余金	945,766		945,766
利益剰余金	1,775,269		1,812,122
自己株式	△176,098		△182,238
株主資本合計	3,293,062		3,323,776
その他の包括利益累計額			
その他有価証券評価差額金	27,766		31,694
為替換算調整勘定	41,545		30,299
その他の包括利益累計額合計	69,312		61,993
新株予約権	13,818		13,544
少数株主持分	5,529		6,182
純資産合計	3,381,722		3,405,496
負債純資産合計	3,832,135		3,817,789

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年3月31日)
売上高	472,747	536,234
売上原価	223,333	222,209
売上総利益	249,414	314,024
販売費及び一般管理費	198,695	207,934
営業利益	50,719	106,090
営業外収益		
受取利息	64	442
為替差益	3,169	-
助成金収入	-	1,800
受取地代家賃	1,298	1,425
その他	543	222
営業外収益合計	5,076	3,890
営業外費用		
売上割引	48	45
為替差損	-	549
減価償却費	1,290	1,375
その他	242	82
営業外費用合計	1,582	2,053
経常利益	54,213	107,928
特別利益		
固定資産売却益	517	-
投資有価証券売却益	5,046	-
新株予約権戻入益	-	274
特別利益合計	5,563	274
特別損失		
固定資産除却損	-	240
投資有価証券売却損	100	-
特別損失合計	100	240
税金等調整前四半期純利益	59,676	107,962
法人税、住民税及び事業税	19,291	32,587
法人税等調整額	7,011	4,639
法人税等合計	26,303	37,226
少数株主損益調整前四半期純利益	33,373	70,735
少数株主利益	-	217
四半期純利益	33,373	70,517

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

	(単位：千円)	
	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	33,373	70,735
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,062	3,928
為替換算調整勘定	19,527	△11,246
その他の包括利益合計	24,589	△7,318
四半期包括利益	57,963	63,416
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	57,963	62,763
少数株主に係る四半期包括利益	-	653

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成25年1月1日 至 平成25年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他	合計
	日本	韓国	中国	計		
売上高						
外部顧客への売上高	354,931	65,190	34,808	454,930	17,817	472,747
セグメント間の内部売上高 又は振替高	55,002	17,607	2,401	75,012	—	75,012
計	409,934	82,798	37,210	529,943	17,817	547,760
セグメント利益	35,182	7,221	8,095	50,499	368	50,867

(注)「その他」の区分には、報告セグメントに含まれない所在地セグメントであり、「タイ」であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	50,499
「その他」の区分の利益	368
セグメント間取引消去	△148
四半期連結損益計算書の営業利益	50,719

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

報告セグメントの変更

当第1四半期連結累計期間より、従来「その他」に含まれていた「中国」について量的な重要性が増したため、報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

有形固定資産の減価償却方法の変更

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更に記載のとおり、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成25年1月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更したため、報告セグメントの減価償却の方法を改正後の法人税法に基づく方法に変更しております。

これによる、損益に与える影響は軽微であります。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 平成26年1月1日 至 平成26年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他	合計
	日本	韓国	中国	計		
売上高						
外部顧客への売上高	371,366	98,357	44,333	514,057	22,177	536,234
セグメント間の内部売上高 又は振替高	70,203	8,641	2,663	81,509	—	81,509
計	441,570	106,998	46,997	595,566	22,177	617,743
セグメント利益	82,077	18,030	5,172	105,280	1,130	106,411

(注)「その他」の区分には、報告セグメントに含まれない所在地セグメントであり、「タイ」であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	105,280
「その他」の区分の利益	1,130
セグメント間取引消去	△320
四半期連結損益計算書の営業利益	106,090

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。